

令和 6 年度 入札監視委員会議事概要

沖縄防衛局

開催日及び場所	令和 6 年 9 月 2 6 日 (木) 於：沖縄防衛局 4 階講堂
委員	矢吹 哲哉(委員長：琉球大学名誉教授) 堤 純一郎(琉球大学名誉教授) (五十音順) 仲里 豪 (弁護士) 原田 泰人(公認会計士) 山城 勝 (元沖縄県経営者協会常務理事)

I 沖縄防衛局が発注する建設工事等に関する審議

審議対象期間	令和 6 年 4 月 1 日 ～ 令和 6 年 7 月 1 5 日	
審議対象件数	2 4 件	
1. 入札状況について (入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について)		
抽出件数	6 件	(審議概要)
建 一 般 競 争	2 件	・ 対象期間における契約状況、指名停止状況、低入札価格調査定及び落札者決定の経緯等について説明。
工 指 名 競 争	0 件	
事 随 意 契 約	0 件	
建設コンサルタント業務等	4 件	
	意見・質問	回 答
	【建設工事】 一般競争入札方式 ・ 北部 (6) 倉庫新設建築その他工事 ○ 入札を 3 回実施した経緯を確認したい。	○ 入札を 3 回実施することは防衛省内の通知文書である「入札・契約手続きのより一層の透明性等の確保の運用について」において「再公告等の入札手続きに係る事務負担を勘案し 3 回目の入札を執行することができる」と規定されており、本件の 2 回目入札を終えた応札額と予定価格との開差が小さかったため、3 回目の入札を行ったものである。
	○ この場合不落随意契約にしないのか。	○ 不落随意契約を適用する要件は別途定められており、その要件を満たしていないため不落随意契約ではなく、3 回目の入札を実施した。

- 1 回目の入札時に 2 者、2 回目に 1 者が応札しており、すべての応札額が予定価格を超過しているが、どういった理由か。

一般競争入札方式

- ・ 普天間（6）格納庫改修建築工事

- 応札者が比較的多いにも関わらず落札率が高止まりした理由を確認したい。

- 予定価格を超過している者が多いが原因は何か。

- 評価点の内訳の企業の能力の配点に開きがあるが、どういった理由か。

【建設コンサルタント業務】

一般競争入札方式

- ・ 陸自那覇外（6）測量等調査
- 無効の数が多い理由について確認したい。

一般競争入札方式

- ・ 勝連（6）土質調査
- 無効の数が少なかった理由

- 本工事の施工場所が北部で遠いこともあり、応札者が往復の移動時間を加味した労務単価で積算しており、当局は移動時間を加味しない積算としていたことから、予定価格を超過したものと考えられる。

- 本工事の主な内容が大扉の撤去新設であり、当局及び応札者も専門業者からの見積りにより積算しているため、結果的に予定価格に近い金額での応札となったと考えられる。

- 本工事の大扉は高さ 5～6 m のものであり、特殊なメーカーしか扱っていないことから依頼業者が少なく、その中で見積を徴取したところ見積額が高い業者と低い業者があり、予定価格を超過した者は高い見積額の業者から見積を徴取したためと考えられる。

- 施工能力を評価する総合評価方式の場合、過去に行った防衛省や地方自治体の工事結果に係る工事成績が評価点として加算されるため、このような過去の実績による加算点の違いであると考えられる。

- 本調査は隣接した施設 2 箇所での測量であり、各施設別々の入門手続きにより調査しなければならないが、地図上では同一箇所にも見えるため、積算する上で経費を低く見積もったのではないかと推測される。そのため調査基準を下回った者が多く、調査基準価格を下回った者が第三者履行確認について辞退したため入札無効が増える結果となったと考えられる。

- 本調査の対象地が 2 地区のた

を確認したい。

一般競争入札方式

・勝連（6）体育館等新設建築設計

○ 1/四半期の契約実績中、1者が4件受注しているがそのような状況に至った経緯について確認したい。

○ 国や地方公共団体の業務実績がなければ、評価点が低くなり、受注できないのではないか。

公募型プロポーザル方式

・空自那覇（6）施設最適化総合設計

○ 業務の内容、公募型プロポーザルとした理由について確認したい。

め、経費を他の1地区のみの調査の場合よりも高く積算したことから、応札があった16者の応札価格が調査基準価格を上回ったためと考えられる。

○ 本業務のほか3件の設計業務についても総合評価方式により入札を行い、技術評価点及び価格評価点が最も高かったため落札に至ったもので、技術評価点が高い理由としては、過去に受注した同種業務実績に係る業務成績が評価されたためと考えられる。

○ 対象施設の用途にもよるが、総合評価方式の中には、業務成績を評価対象とせず、また、国や地方公共団体等の実績を問わず、民間の実績でも同等に評価する方式があり、民間実績しかもたない者でも参加しやすい入札方式を採用し、新規の業者が受注実績を積める機会を増やすよう努めている。

○ 本業務は、防衛省が実施している最適化事業の内、航空自衛隊那覇基地、海上自衛隊那覇基地の施設の整備に係る総合設計業務を行うものである。

○ 最適化事業とは、各基地・駐屯地等の強靱性、安定運用、コスト縮減、社会・環境への対応など、自衛隊が保有すべき性能、防護性を確保し、施設管理、運営を目的とするものである。

○ 公募型プロポーザルとした理由については、本業務は技術提案・交渉方式の適用対象業務であることから、「建設工事における技術提案・交渉方式（通知）」に基づき、当該方式を適用した設計業務の選定はプロポーザル方式を適用することが基本となっているためである。

	○ 分割発注はできなかったのか。	○ 基地全体の建替計画や仮設計画を考慮し、別途発注している技術協力業務における優先交渉権者の知見を活かし設計する必要がある一つ発注としたものである。
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

2. 談合疑義案件の処理状況について

談合疑義件数		0 件	(審議概要)
工	談合情報	0 件	
	点検結果疑義	0 件	
業	談合情報	0 件	
	点検結果疑義	0 件	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等		意見・質問	回答
		なし	なし
委員会による意見の具申又は勧告の内容		なし	

3. 入札結果の事後的・分析結果について

審議概要	令和5年度1/四半期～4/四半期分に関する建設工事及び建設コンサルタント業務に係る入札方式別の落札率、応札率、一者応札、一者応募及び一位不動等の状況について説明を行った。	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	意見・質問	回答
	○ 不調・不成立案件の沖縄局と沖縄局以外との比較で沖縄局の発生状況の要因分析や他局への共有は行っているのか。	○ 沖縄局の管轄は他局のように他県にまたがっていないため、他局に比べ参加しやすい地理的状況であること、積極的に県内各地で入札制度説明会等を実施していること等が不調・不成立が他局に比べて低い要因と考えられる。また各会議等で情報共有に努めている。
	○ 一者応札が過去3カ年の比較で増加傾向にあるが、要因分析は行っているのか。	○ 全国的な技術者不足が要因の一つと考えられるが、入札制度説明会等を実施し参加業者の理解を深めるよう努めている。

委員会による意見の具申又は勧告の内容		なし			
4. 再苦情処理（再説明請求回答）					
再苦情申立件数 （再説明請求件数）		総件数	0 件	（備考）	
建設 工事	一般競争（政府調達協定対象外）		0 件		
	指名競争		0 件		
	随意契約		0 件		
建設コンサルタント業務等※			0 件		
再苦情申立概要 （再説明請求概要）		申立日	件 名	契約方式	内容等
		/			
委員からの意見・質問、それに対する回答等		意 見 ・ 質 問		回 答	
		なし		なし	
委員会による意見の具申又は勧告の内容		なし			

* 建設コンサルタント業務等の再苦情処理については、公募型プロポーザル契約及び簡易公募型プロポーザル契約方式を除く。

令和6年度沖縄防衛局入札監視委員会（第2回定例会議）議事概要

航空自衛隊

開催日及び開催場所	令和6年9月26日（木）沖縄防衛局4階講堂
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・委員長 矢吹 哲哉（大学名誉教授） ・委員 堤 純一郎（大学名誉教授） 仲里 豪（弁護士） 原田 泰人（公認会計士） 山城 勝（元団体常任理事）

I 防衛省発注機関が発注する建設工事等に関する審議

審議対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
審議対象件数	42件

1. 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）

抽出件数		2件	審議概要	【報告事項】 契約状況について 【抽出案件】 契約概要、落札者決定の経緯等
建設工事	一般競争（政府調達協定対象）	0件		
	一般競争（政府調達協定対象外）	1件		
	随意契約	1件		
	建設コンサルタント業務等	0件		

	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	【報告事項】 ○契約状況について 特に意見なし	
	【抽出案件】 ○建設工事〔一般競争入札〕（政府調達協定対象外） （1）(5)構内高圧ケーブル更新工事(那覇)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入札参加者数が多いにも関わらず落札率が高止まりした経緯を確認したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予定価格の算定については、公共建築工事標準単価積算基準などを適用し算出しておりますが、当該積算基準は公表されていることから、入札参加業者が、予定価格に近い金額を算出することは可能であることと、一部、業者見積の比較により、最も安価な参考見積を予定価格として採用したため、結果として高落札となったものと考えています。
	○建設工事〔随意契約〕（政府調達協定対象外） （2）屋内消火栓設備取替工事	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 落札率が100%となった経緯を確認したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本契約は、奄美大島分屯基地内の屋内消火設備の取替工事を実施するものです。予定価格の算定については、島内で契約の履行が可能な2者より見積を徴取し、のちに契約業者となった業者の見積が安価であったため、当該見積を予定価格に採用したところ、当該業者が見積金額を同額で提示したため、結果的に予定価格と同額になりました。

<ul style="list-style-type: none"> 入札の条件として、奄美大島の業者であることが条件だったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> そのような条件は付していません。結果的に応じた業者が奄美大島の業者だったということです。
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	<p>特になし。</p>
<p>2. 指名停止状況</p>	<p>該当案件なし。</p>
<p>3. 談合情報案件の処理状況</p>	<p>該当案件なし。</p>
<p>4. 再苦情処理状況</p>	<p>該当案件なし。</p>

令和6年度沖縄防衛局入札監視委員会（第2回定例会議）議事概要

航空自衛隊

開催日及び開催場所	令和6年9月26日（木）沖縄防衛局4階講堂
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・委員長 矢吹 哲哉（大学名誉教授） ・委員 堤 純一郎（大学名誉教授） 仲里 豪（弁護士） 原田 泰人（公認会計士） 山城 勝（元団体常任理事）

Ⅱ 契約実施機関が締結する契約（建設工事等を除く。）に関する審議

審議対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
審議対象件数	3,102件

1. 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）

抽出件数	4件	審議概要	【抽出案件】 契約概要、落札者決定の経緯等
一般競争	3件		
指名競争	0件		
随意契約	1件		

意見・質問	回答
-------	----

【抽出案件】

○一般競争入札（政府調達協定対象）

（1）FUEL TANK KEEPER 設置に伴う掘削、残がい処理、基礎及び電気敷設

○委員からの意見・質問

○それに対する回答等

<ul style="list-style-type: none"> ・ 契約内容、応募者数1者となった経緯を確認したい。 	<p>(1) 契約内容 本契約は、当該装備品の設置に伴う整地、基礎の構築、電気敷設などを行うものです。</p> <p>(2) 応募者数1者の経緯 本件については、政府調達に該当するため、官報に入札公告を掲載し応募者を募っており、調達手続、周知要領等については、適時適切に実施したものと考えています。また、仕様書の内容についても問題点や特殊性はなかったものと判断しております。よって、応募者数が少なかった理由については、企業側の人材確保や資材の調達状況等独自の判断で、応募を控えたものと推察します。</p>
--	--

○一般競争入札（政府調達協定対象外）

（2）輸送役務(1)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 契約内容について、いわゆる「預け」に該当しないか確認したい。 「預け」を定義すると、 支出金を業者に預け後日これを利用し適宜物品を納入させること。例えば、令和4年度に人員輸送代金を支払うが、実際に利用するのが令和5年度だけとすると当該行為に該当するのではない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本契約は、沖縄本島から鹿児島県の各離島への部隊展開に必要な人員及び車両の輸送契約であり、展開の都度、契約行為を行っている場合は、契約事務が煩雑となり、ひいては、迅速さが求められる部隊展開に支障をきたす可能性があるため、各航路の単価を確定させ、単価契約として年度当初に包括的に契約を締
---	---

	<p>かと考えている。</p>	<p>結したものです。 代金の支払いについては、発注実績に基づき給付の完了を確認後、支払行為を行っており、いわゆる「預け」には該当しないものと考えています。</p>
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	○一般競争入札(政府調達協定対象外) (3) 輸送役務(2)	
	<ul style="list-style-type: none"> 輸送役務(1)と同じ質問内容でしたので先ほどの回答で終了とします。 	<ul style="list-style-type: none"> わかりました。
	○随意契約(政府調達協定対象外) (4) (5)事業系一般産業収集運搬処理(古紙類) 119, 836 kg	
	<ul style="list-style-type: none"> 単契を採用した経緯を確認したい。 コピー用紙は、シュレッダーで処理して排出するよりも、そのまま紙として排出した方が再生利用できるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 本契約は、那覇基地から排出される雑誌、新聞紙及び段ボール並びにシュレッダー屑の処理に関する契約であります。 単価契約を採用した経緯は、処分の都度、入札・契約を行ってからは、契約事務が煩雑となるため、年度当初に項目毎に単価を確定させて契約した方が契約事務の効率化が図られると判断し単価契約としました。 那覇基地内で作成した文書の処分については、秘密保全の観点からシュレッダーで裁断し排出することが不可避です。仕様書には、可能な限りリサイクル(再生利用)する旨を記載しており、シュレッダー屑についても、再生利用が可能であるとの認識です。
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし。	
2. 指名停止状況	該当案件なし。	
3. 談合情報案件の処理状況	該当案件なし。	
4. 再苦情処理状況	該当案件なし。	